

つくばみらい子どもと学校の絆プロジェクト

☎ 教育委員会教育指導課 ☎ 58 - 2111 (内線 7152)

教育委員会では、
“先生が子どもとつながり
子どもたち同士をつなげ
新しい学校への不安を希望に変え
新しいクラスでの生活に期待をもち
すべての子どもたちが困難に立ち向かう
勇気をもてるよう
みんなの力で子どもたちの輝く笑顔が
早く学校に戻りますように”
という思いのもと、臨時休校期間中の
子どもたちへの学習機会の提供と心と
体のケアに取り組みました。

■絆プロジェクト

市内小中学校の先生方が、「学力保障」・「心と体のケア」・「段階的 school 再開」の3つのチームを編成し、「つくばみらい子どもと学校の絆プロジェクト」を進めました。その取り組みの一部を紹介します。

■YouTubeでの授業動画配信や

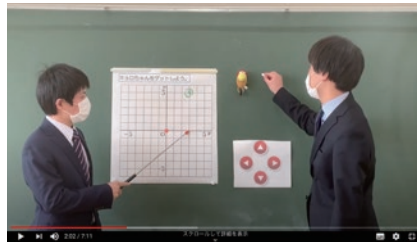
テレビ会議システムでの朝の会を実施

臨時休校が続く中、始業式や入学式で一日しか対面できていない子どもたちと先生たちが「つながる」ことを目指して、先生たちの個性あふれる授業映像をYouTubeなどで児童生徒・保護者に向けて限定公開しました。



小学校の新1年生に新しい環境への安心感を届け、あたたかく迎えるため、ぬいぐるみが案内役となり学校を紹介する動画(学校探検)を配信

市内の各小中学校で工夫ある授業動画が作成され、その総数は190本を超えました。



中学校では数学の学習に身近な話題を盛り込み、親しみの持てるような授業動画を配信

また、Zoomなどのテレビ会議システムを利用してリアルタイムな朝の会などを実施しました。児童生徒と先生が双方向のやりとりをする中で、学習面のサポートをしたり、生活のリズムを整えたりすることができました。



伊奈中学校や谷原小学校では、Zoom朝の会を実施(写真は伊奈中学校)



小張小学校ではZoomミーティングを実施

■電話連絡や家庭訪問の継続、学校ホームページで情報発信

学校ホームページを活用し積極的な情報発信を行ったり、定期的な電話連絡や家庭訪問を継続したりすることで、安心感を届けるよう取り組みを行いました。

学校ホームページでは、先生から児童生徒の皆さんに向けて心温まるメッセージを送ったり、現在の学校の様子が分かる写真を掲載したりしました。



小絹小学校HPの応援メッセージ(人文字で「ファイト」になっている)

また、市内の各小中学校に配置されているすべてのスクールカウンセラーの勤務日と時間を全保護者にお知らせし、学校の枠を超えて相談できる体制をつくりました。

<子どもたちの反応>

- ・楽しかった
 - ・先生の顔が見られてよかった
 - ・動画を見て自分もやってみようと思った
- ## <保護者の反応>
- ・先生の顔が見られるので子どもたちにとってもよい
 - ・子どもが釘付けになって見ていた
 - ・次の動画を楽しみにしている
 - ・このような発信はうれしい

市内小中学校の先生方が協力し、ワンチームとなって「子どもと先生がつながる」「子どもと学校がつながる」「子ども同士がつながる」取り組みを積み重ねたことで、子どもたちの不安な気持ちを少しでも和らげることができたと感じています。

市教育委員会では、これからも“みらい”を担う子どもたちのためにできることを考え、取り組んでいきます。